

ニラから採集したロビンネダニの薬剤感受性実態



写真1 ロビンネダニ



写真2 ロビンネダニによる被害株

表1 県内施設ニラから採集したロビンネダニにおける各薬剤の常用濃度での死虫率(%)

薬剤名*1 (希釈倍数)	スプラサイド (2,000倍)	アクテリック (2,000倍)	トクチオン (2,000倍)	ランネート (1,000倍)
採集場所				
香美市 1	94.9	81.7	100	100
香美市 2	85.0	40.0	98.3	100
佐川町 1	100	95.0	100	100
佐川町 2	91.7	12.3	51.7	100
中土佐町	100	35.0	5.0	100
感受性系統*2	100	100	100	100

*1 スプラサイド乳剤40、アクテリック乳剤、トクチオン乳剤、ランネート45DF

*2 1970年代から果代飼育している農業の影響をほとんど受けていない系統

表2 県内施設ニラから採集したロビンネダニにおける各薬剤のLC₅₀値*1と抵抗性比

薬剤名	スプラサイド	アクテリック	トクチオン	ランネート
採集場所				
香美市 1	24.3(1.7)	122.1(5.1)	13.6(2.2)	9.6(1.9)
香美市 2	51.2(3.5)	315.7(13.2)	21.3(3.4)	6.3(1.2)
佐川町 1	20.4(1.4)	69.7(2.9)	20.7(3.3)	5.4(1.1)
佐川町 2	84.2(5.8)	726.4(30.3)	205.1(32.6)	7.2(1.4)
中土佐町	29.8(2.1)	377.0(15.7)	874.7(138.8)	19.2(3.8)
感受性系統	14.5(1.0)	24.0(1.0)	6.3(1.0)	5.1(1.0)
常用濃度*2	225.0	245.0	225.0	450.0

注 数値の単位はppm、()内は感受性系統に対する抵抗性比

*1 供試虫の半数が死亡する薬剤の濃度。

*2 防除で使用するときの薬剤の成分濃度

高知県の主要作物であるニラでは、ネダニ類の発生により生育不良などの被害が発生しています。防除対策として薬剤のかん注処理がありますが、抵抗性の発達などにより防除効果が不安定な事例がみられています。そこで、県内のニラ産地からロビンネダニを採集し、登録薬剤に対する感受性の状況を調べました。

採集した全てのロビンネダニに安定した防除効果がみられたのはランネートでした。LC₅₀値(半数致死濃度)は5.4~19.2ppm、抵抗性比はほとんどが2以下と低く、抵抗性発達はほとんどありませんでした。スプラサイドも比較的高い防除効果がみられましたが、LC₅₀値が84.2ppmのものが見られ

るなど、若干、感受性が低下しているロビンネダニがみられました。また、アクテリックやトクチオンは、常用濃度で防除効果のみられるロビンネダニもいるものの、LC₅₀値が常用濃度よりもかなり高く、防除効果が期待できないものがみられました(表1、2)。

今後、さらに他の産地のロビンネダニや同時に発生しているネダニモドキの一種について薬剤感受性の実態を明らかにするとともに、温水処理など物理的な防除法についても検討し、ネダニ類の防除対策の確立に取り組んでいきます。

(昆虫担当 山下 泉 088-863-4915)

高知県農業技術センターニュース 第87号 平成29年3月13日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 石本 周平

農業技術センター

〒783-0023

高知県南国市廿枝 1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064

高知市朝倉丁 268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801

吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>